

令和3年度 学校評価報告書（期末報告）

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (2月8日実施)	総合評価(3月11日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①カリキュラムマネジメントの視点から魅力ある教育課程を編成し、運用・改善する。 ②授業改善に組織的に取り組み、基礎学力の定着を図り、思考・判断・表現する力を伸長することで、主体的に活動できる人材、いつでも社会に出られる人材を育成する。	①魅力ある教育課程の編成に取り組み、次年度から運用できるようにする。 ②カリキュラムマネジメントの視点をもって授業改善に組織的に取り組み、生徒の基礎学力の定着、学力の充実を目指す。	①カリキュラムマネジメントの視点から教育課程編成指針に沿った、魅力ある教育課程の編成に取り組み、次年度からの運用に向けて準備を整える。 ②カリキュラムマネジメントの視点をもってテーマを設定し、授業改善に組織的に取り組む。	①教育課程表を完成させ、次年度から運用できたか。  ②テーマに沿った授業改善に組織的に取り組むことができたか。	①カリキュラムマネジメントの視点から教育課程編成指針に沿った、魅力ある教育課程の編成に取り組み、次年度からの運用に向けて準備を進めた。 ②テーマ「チャレンジできる生徒を育成する」に設定し、11月を授業改善月間として、授業実践や授業見学を行った。1・2学期に実施した生徒による授業評価アンケートでは8割を超えて肯定的な回答が得られた。	①教育課程編成の運用に向けて、関連する校務を整理し、具体的な準備や作業を進める。  ②生徒からは肯定的な回答が得られたが、職員による振り返りは未実施である。取り組みについて、職員の振り返りを年度内に行い、更なる組織的な授業改善に繋げる。	①令和4年度から実施する新学習指導要領の新科目である英語コミュニケーションI5単位について少人数で授業展開し、魅力ある教育課程編成に取り組んだ。 ②「チャレンジできる生徒を育成する」というテーマが浸透し、生徒による授業評価では高評価が得られた。	①カリキュラムマネジメントの視点から教育課程編成指針に沿った教育課程が完成し、運用の準備が整った。 ②教員の努力の結果が生徒による評価に結びついていると評価される。 ③授業改善を行った結果、生徒による授業評価アンケートでは8割を超えた肯定的な回答が得られたが、職員による振り返りが行われていない。	①新教育課程について目標を明確にするとともに、研修を重ねて一つひとつ準備していく。 ②今回の取り組みについて、職員による振り返りを行い、更なる組織的な授業改善につなげていく。
2	(幼児・児童) 生徒指導・支援	①基本的な生活習慣の確立を図るとともに、社会の一員として行動するための規範意識を高める。 ②自己理解・他者理解を深め、自他を尊重できる人間関係を築き、いつでも社会に出られる(社会に通用する)コミュニケーション能力を育む。	①生徒は挨拶ができ、望ましい生活習慣を身につけている。 ②コミュニケーション能力を育み、感染症対策を徹底しながら生徒主体の行事運営を行う。	①いじめ・挨拶等アンケートの活用。継続的な服装・遅刻指導に取り組む。 ②生徒が主体となりながらも、感染症対策を講じながら行えるような新しい行事の形を模索する。	①5割以上の生徒がしっかりと挨拶することができたか。また、遅刻が昨年度を下回ったか。 ②生徒の活動において5割以上の生徒が積極的に取り組み、達成感を味わっているか。また、様々な生徒会活動を外部に向けて発信できたか。	①6割以上の生徒が挨拶をすることができていると回答している。遅刻については、分散登校等があり昨年度との比較が難しいが、増加した。 ②コロナ禍で多くの行事が行えなかったが、都筑祭と球技大会については生徒が感染対策を徹底して主体的に行動し、達成感を味わった。HPで都筑祭の発信も行った。	①挨拶は旭高校の一つの特徴であり、今後も継続していきたい。遅刻は増加傾向なので、改めて日常から注意喚起をしていく。 ②今年度もコロナ禍で生徒会活動に多くの制限がかかった。その中でもできることを模索して活動していたので、この経験を次年度に活かしていきたい。	①教務グループで電車・バス等遅延の配慮を少なくした結果、今年度遅刻する生徒が増えた。 ②文化祭等行事について、感染症対策を講じながら成功させることができた。ホームページ等で外部に発信していきたい。	①遅刻の増加は遅延の配慮を変更したことだけでなく、コロナ禍の影響もあるのか遅刻・欠席が増えている。 ①挨拶については、旭高校の特色となっており、ほとんどの生徒が挨拶をしている。 ②体育大会等がここ何年か実施できなかったの、経験のないところで生徒主体の行事づくりができるかが課題である。	①入試等の時は天候に関わらず遅刻ができないので、天候状況が悪い時には早めに家を出るよう指導していく。 ②コロナ禍は次年度も続く見通しであるが、対面式をオンラインで実施するなど工夫して行事を実現していく。 ③各種行事をオンライン等で実施するために放送機器の整備等、施設・設備面を充実させていく。 ④家庭や経済状況等に対して教員が生徒の変化に気づくようにする。
3	進路指導・支援	①学習意欲に結び付けるキャリア教育を展開し、保護者・家族とともにライフプランの実現ができるようなキャリアデザイン能力を身につけさせる。	①ライフプランを考え進路をデザインするとともに、実現のために学習活動を意欲的に進める。	①教育活動のデジタルトランスフォーメーションを促進し、自主的な学習活動への取組を図る。  ①進路実現に向け保護者・家族と連携し支援・相談の体制を充実させる。	①家庭学習等の時間が増えたか。  ①ICT環境を利用して学習・進路指導ができたか。  ①卒業後の目標を持ち進路決定ができたか。	①生徒の授業評価アンケートによると授業時間以外での学習時間について昨年度より増加している。 ①リモート授業等の推進でICT活用能力が生徒・教員ともに向上した。また、Meetを利用した個別の面接を行い、進路指導に活用した。看護や公務員などの分野についてもG-Classroomで配信による情報提供ができた。さらに、各行事の振り返りや進路調査などにGフォームを利用し、効率的に活用できた。 ①1学期に保護者面談を行い、家庭との意思疎通をできるよう関係が築けた。また、2学期以降は担任等が随時家庭と連絡を取り、生徒の進路決定をサポートすることがで	①2学期は分散登校等で家庭学習に頼る部分が多く、授業への取組や課題の提出などで二極化が進んだように見受けられる。生徒の意欲を高めるリモート授業のやり方に工夫が必要と思われる。 ①G-Classroomの活用を高め、より多くの進路情報配信や面談・指導を進めていきたい	①2学期はリモート授業と分散登校の期間が長くあり、meet等ICTを使ってリモートで生徒と面談するなど、進路指導において個別指導に取り組んだ。 ①看護・公務員関係の情報を配信により、情報提供したり、家庭と連絡を取りながら進路実現に努めた。	①今年度はオンライン授業が多く、家庭での学習習慣が身に付き、授業以外での学習時間が増えている。 ①担任や進路支援グループの教員が保護者との連絡を密にとり、保護者と連携しながら生徒の進路実現に取り組むことができた。 ①一般受験で大学に行く生徒が増えて、今年度は49名の生徒が一般受験による大学入試に組み、希望する大学への合格を果たす生徒が増えた。	①指定校推薦や公募制推薦で早めに進路を決めたい生徒が多かった状況が、一般受験で合格した生徒が増えることにより、変わっていく。 普段から学習に取り組む雰囲気づくりをして、一般受験にチャレンジする生徒を増やし、最後まであきらめずに進路実現に取り組む指導を行っていく。

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (2月8日実施)	総合評価(3月11日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	<p>①学校と地域の連携協働の「現状と課題」を把握し、改善を意識した学校運営協議会を運営する。</p> <p>②学校と地域の連携協働の促進により、地域連携部会において生徒と地域の両方の将来を考えていく開かれた学校づくりを進め、地域の力を学校運営に反映させる。</p>	<p>①学校運営協議会の充実を図り、学校運営協議会をとおして地域と協働連携を図り、地域の力を学校運営に生かす。</p> <p>②地域連携部会等の連携をとおして、学校と地域がともに生徒を育てる取組を推進する。</p>	<p>①学校運営協議会の意見や提言を生かす取組ができたこと、議事録を活用した検討を各部署に促す。</p> <p>②地域の力を借りた生徒たちの学びや体験活動を促進し、活躍する生徒にスポットを当て、多くの生徒に関心を持ってもらえるような取組を検討する。</p>	<p>①学校運営協議会での協議が学校運営に反映させる調整を図ることができたか。</p> <p>②地域との連携協働により、生徒の主体的な取組を積極的に学校内外へ情報発信をできたか。</p>	<p>きた。</p> <p>①第1回学校運営協議会の議事録をホームページに掲載し朝の打ち合わせで職員に閲覧を促した。</p> <p>②コロナ禍で地域と協働した取組を行うことが難しかった。</p>	<p>①学校運営に生かすことができた具体について集約する。</p> <p>②コロナ禍の状況や達成できたことに関する情報発信を行っていく。</p>	<p>①昨年度は学校運営協議会のほとんどが書面開催であったが、今年度は4回とも学校で開催し、議事録をホームページに公開することができた。</p> <p>②旭アワードの実施により、生徒の活動を学校運営協議会委員に表彰していただくことができた。</p>	<p>①学校運営協議会を4回学校で開催することができたが、学校運営に生かす具体について集約することができなかった。</p> <p>①教育活動活性化部会にて総合的な探究の時間の改革について検討し、学校運営協議会会長の協力や産業能率大学と連携し、新たなカリキュラムを開発した。</p> <p>②コロナ禍で地域との連携による活動が難しかった。</p>	<p>①学校運営協議会の意見や提言を学校運営に生かし、成果について集約、検証する。</p> <p>②ケアプラザでの吹奏楽部の演奏をオンラインで実施したり、姉妹校交流をリモートで行うなど、コロナ禍で活動に制限のある中、ICT設備を使用し、工夫しながら地域との連携を深めていく。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①ICTを活用したさまざまな活動を支援するための教育環境を整備する。</p> <p>②生徒の防災意識・感染対策意識の向上に努める。また、SDGsを推進するための意識を醸成する。</p> <p>③情報を迅速に発信し、開かれた学校をつくる。</p>	<p>①すべての職員が教育環境の変化に対応できるよう教育環境の整備を充実させる。</p> <p>②安全、安心に対する意識の向上を図り防災対策の充実に努める。</p> <p>③学校の様々な情報を適切かつ迅速に発信することができる。</p>	<p>①情報発信のための環境を構築し、職員研修を実施する。</p> <p>②防災訓練等を通して、命を守るために日ごろの危機意識を高める。</p> <p>③各部署のホームページの掲載が円滑に行われ適切かつ迅速な情報発信ができるよう掲載担当部署との連携を図る。</p> <p>④生徒主体の学校説明会では本校の魅力である生徒の輝く姿を中学生や保護者の方に見ていただき、本校について中学生や保護者の方々に知ってもらえる機会とする。</p>	<p>①環境整備が整備できたか。</p> <p>①職員が教育環境の変化に対応できるようになったか。</p> <p>②防災訓練等で危機管理意識を持って対処できたか。</p> <p>③ホームページに必要な情報が掲載され、迅速な更新を適宜行うことができたか。</p> <p>④わかりやすく充実した情報の発信で本校の魅力を伝えることができたか。学校説明会のアンケートで90%以上の評価を得たか。</p>	<p>①コロナ関連でオンライン授業を実施。</p> <p>①職員・生徒向けアンケートによる検証予定。</p> <p>①コロナ禍、オンライン授業の実施に伴って、職員の意識が高まった。</p> <p>②時差登校となり、放課後の避難訓練は、中止。</p> <p>10月中旬にクラス単位で避難訓練(シェイクアウトを含む)を実施。</p> <p>②各教室での防災訓練を実施し、意識を高めることができた。</p> <p>③ホームページの部活動の活動状況情報が更新できるよう各部活動顧問に働きかけを行っている。</p> <p>③第1回学校説明会は生徒主体で行うことができ、旭高校の魅力を知ってもらい高評価をいただいた。</p>	<p>①校内の通信環境について、4階より順次、教室内にWi-Fi機器を設置する。</p> <p>①次年度入学生とともに、教室内のモニターの設置、校内LANの増設等、GIGAスクール構想に実現に向け整備を進める。</p> <p>②コロナ禍での訓練方法について、オンライン以外での訓練方法について、再度検討し、大規模災害への備えを整える。</p> <p>③活動により協力が得られにくいところもあり更新が滞ることがある。</p> <p>③学校説明会のアンケートではすべての項目で高評価をいただいたのでさらに来場者の方に満足していただけるものとしていきたい。</p>	<p>①4階の1年生の各教室においてWi-Fi機器を設置することができた。</p> <p>①令和4年度入学生から始まる一人1台端末購入の業者選定を行うとともに、補正予算により、1年生、2年生の教室と一部の特別教室にモニタを設置し、GIGAスクール構想に実現に向け整備を進めた。</p> <p>②コロナ禍で集合型の防災訓練はできなくなったが、動画視聴により、生徒にわかりやすく防災教育を実施することができた。</p> <p>③生徒主体の学校説明会等広報活動の改善により、中学生や中学生の保護者に旭高校の魅力を伝えることができた。</p>	<p>①1・2年生の教室にモニタを設置し、令和4年度から全学年に学習コンテンツを導入し、GIGAスクール構想に実現に向け整備を進めた。</p> <p>②外に出る避難訓練はできなかったが、各教室で動画を見ながら、生徒の防災意識を高める指導をした。</p> <p>③ホームページについては、令和2年度CMSに移行し、令和3年度生徒の活動を多く掲載したり、動画の掲載によりホームページが見やすくなったと学校運営協議会委員から評価をいただいた。</p> <p>③第2回の学校説明会も生徒の活動を中学生や保護者にみせることができ、旭高校を志望する中学生が増えた。</p>	<p>①令和4年度に創立50周年の記念事業を行い、3年生の教室にモニタを配備するとともにWi-Fi機器を設置を充実させて、ICT環境の整備を整える。</p> <p>②学校運営協議会委員と連携し、SDGsを取り入れるなど、防災教育の充実を図る。</p> <p>③生徒がホームページ作りに参加し、生徒主体の活動をホームページに掲載してホームページを充実させる。</p> <p>④生徒主体の学校説明会を実施することで、学校の様子を中学生や保護者に伝えられるよう、学校説明会の運営を進める。</p>